

インディアンサマーに関わりたい！応援したい！

ACT 1

インディアンサマーの活動に参加する

- ▶ インディアンサマーの会員になる
- ▶ インディアンサマーの活動にボランティア参加する
- ▶ インディアンサマーの活動に来場者として参加する

ACT 2

インディアンサマーの製品を購入する

「わ紅茶」や「菜種油」など、インディアンサマーブランドの製品を購入するだけで、地域の生産者が笑顔になり、地域を元気にすることができます。

ACT 3

インディアンサマーに寄付する

- ▶ 志金協力する（銀行振込）
- ▶ 毎日クリック募金に協力する（gooddo）
<http://gooddo.jp/gd/group/indiansummer/>

ACT 4

インディアンサマーに関心を持つ

facebook を見るなど、インディアンサマーの動向に関心を持っていただくだけでも支援になります！



入会案内

正会員

会の事業運営に積極的に
参画するボランティアリーダー

年会費：6,000円／議決権あり

賛助会員

会の事業運営を
資金面でサポートする

年会費：3,000円／議決権なし

ネット会員

会の事業に関心を持ち
積極的に参加する

年会費：500円／議決権なし

※会員期間中は情報提供と参加費等会員割引を適用

振込口座

大垣共立銀行
岡崎支店 普通 107709
特定非営利活動法人 インディアンサマー
理事 柴田 賢治郎

お問い合わせ

インディアンサマー事務局

〒444-0005 愛知県岡崎市岡町南屋敷 17 番地 1

TEL：0564-64-1888 FAX：0564-64-1887

MAIL：indiansummer888@gmail.com

活動の情報入手、活動へのエントリーは

<https://www.facebook.com/indiansummer888>



だから今、
インディアンサマーが
動き始めました。

特定非営利活動法人 インディアンサマー

僕の生まれ育った額田宮崎地域は農林業で経済成長してきた地域です。その農林業が輸入材に押され衰退、減少。2009年、8校あった小学校が3校同時廃校。医療機関、公共機関、さらには小規模スーパーマーケットの撤退と人が住みづらい環境になりました。

そこでこの額田地域を基盤とし三河中山間地域の地域資源を活用し、地域に新たな産業を創出する事を目標とし、100年後も住み続けられる事のできる地域を創りあげる事を理念に活動しています。

里山を守り、伝え遺していくことが
里山に生きる僕たちの使命です



梅村 篤志
理事長

インドアンサマーとは？ 自分の人生を一生懸命生き、仕事も、家庭も、それと無くこなして、ああ、こんな風に老いて行くんだって思う事ばかりですか？ また、仕事も、家庭も？（恋愛も？）ままならなかった頃、僕らには自分の人生への不安と同時に憧れがありました。インドアンサマーは人生の晩年にその憧れを思い返し心穏やかに過ごす時期の事を指します。（冬の初頭に突然やってくる夏の様に暖かい日々、小春日和とも訳します。）貴方の中にその憧れを形にする。私達はその憧れが貴方の体を夏の太陽の様に温めてくれる事を知っています。貴方が、この社会を、信じられる様に、、、

若者が地域のアイデンティティを
明示しながら生きられる社会を創る



創設者
柴田 賢治郎

インドアンサマーの名前の由来は？

アメリカで、晩秋から初冬のころ、通常より暖かく穏やかな日和のことを言います。また、人生の晩年に穏やかに落ちていく生活の続く一時期を、「インドアンサマーのような日々」と比喩することもあります。

私たちの活動が、私たちに与えての、また、多くの人たちに与えての「インドアンサマーのような日々」の源になれることを願って命名しました。

インドアンサマーってどんな団体？

誰だって、自分の生まれ育った里山に誇り、希望を持って暮らし続けたい。でも、それを選択したくてもできない人たちがいます。

自分のまちが「暮らすことが不可能」になっ
てしまふ前に、私たちは自分たちでまち
にできることをして、地域を元気にしてい
う、と決めました。

インドアンサマーの精神は【感謝とある
もの探し】。地域を元気にするために、地域のあらゆるものに光を見出し、持てる力
の全てで生かし、活力にする。だから切り口は「自転車」だったり、「農業振興」だったり、
「観光促進」だったり、「障がい児と健常児の共生」だったり様々で、何をやってい
る団体なのか、よくわからない...と言われます。でも想いは一つ。「自分の大好きな
まちを、自分で住みよくしていきい」。誰よりも楽しく、生き生きと、かっこよく。た
まには羽目も外すけど、結果はしっかりと出す。それがインドアンサマーです。



インディアンサマーの挑戦

と愉快的仲間たちの紹介

大人の責任として障害のある子どもも安心して暮らせる社会を創り、遺していきたい。

小さいころから障害児と健常児、垣根のない環境で過ごすことが大事！フリースクールを通じて義務教育にはないフラットな環境を提供し、共生の心を育む。

障害児も健常児も少し違いはありますが、同じ「人」として感動を分かち合ったり、ともに成長したりすることに変わりはありません。

子どもたちが分け隔てなくともに同じ空間で交流することで、それぞれが個性を持った存在を認め合い、助け合える心を育てるために、そんなことを考えながら、フリースクールを定期開催しています。



プロジェクト担当者：
小野 彰之

地場産業の林業、茶業が衰退。職を求めて人口が減ってしまいました。このままではまちがなくなります。



プロジェクト担当者：
梅村 篤志
深谷 紗与子

「煎茶」から「紅茶」への転換を図ることでお茶農家さんの収入増と人口増をねらう！

岡崎市旧額田町の宮崎地区はその昔、三大銘茶と謳われるほど有名なお茶所でした。「夏はお茶、冬は林業」で潤ったのは昔の話。地場産業が衰退し、地域はめっきり元気をなくし、耕作放棄地、荒れた山林が目立ち始めました。

何とか地域に産業を興し、再び元気な宮崎を取戻したい！そこで地域資源の「お茶」で再び地域を盛り上げおうとしています！「紅茶の加工所」を整備し、既存農家、新規就農者に「わ紅茶」の技術を伝え、「紅茶の里ぬかた」による再興を目指しています。



インディアンサマーはただただストイックに地域課題に向き合っている団体ではありません。「メンバーそれぞれの想いや特技がカタチになる。そしてそれが地域を元気にすることにつながる」ことを目指しています。だからみんな生き生きと楽しく活動しています！それこそがインディアンサマーの最大の魅力であり原動力です。

あなたも内に眠らせている想いや特技をインディアンサマーで発揮してみませんか？

地域の名産物を開発し、地域の方や観光客をオ・モ・テ・ナ・シしたい。



プロジェクト担当者：
柴田 賢治郎
古谷 至



プロジェクト担当者：
柴田 賢治郎

観光を核に地域の魅力を全国発信したい。

地形を生かして「自転車」の世界・全日本クラスの大会を招致。スポーツ振興による地域活性。



スポーツ大会による地域活性が最近全国的にも増えてきましたが、「新城市」も豊かな自然が魅力であり、自転車トライアル競技に絶好の地形です。この地の利を生かし、全日本クラス、世界クラスの大会を招致することで観光客を呼び込み、経済効果を狙います。

また、子ども向け自転車講習会なども実施し、競技選手の育成も行うことで「新城市」の知名度向上を狙っています！



地域の名産品開発と農業従事者の育成。二つの課題に「菜種油」で挑む。

「新城市」に観光客を動員できても胸を張って提供できる「お土産」がない。そこで、新城市八名井地区の広大な畑で菜の花栽培を始めました。行く行くは提携農家を増やし、これを昭和30年代の製法で最高級国産菜種油「ニューキャッスルイエロー」として加工・販売し、新名物に育てます。

菜種油は万能油。食用だけでなく、潤滑油や燃料としての活用も期待され、環境負荷の少ない油としても活用できそうです！

